



日本エアロゾル学会

Japan Association of Aerosol Science and Technology



学会概要

日本エアロゾル学会は、エアロゾル(気体中に浮遊する微粒子)に関心のある大学や企業などの研究者、技術者が集まって、1983年8月に組織されたエアロゾル研究協議会が発展、改組したもので、1992年7月に学会として発足しました。

現在、個人会員および学生会員が約500名、法人会員が約40社であり、日本学術会議、国際エアロゾル研究連合(IARA)およびアジアエアロゾル研究連合(AARA)に登録されている学術団体です。

本学会には医学、薬学、農学、工学、理学など幅広い分野の人々が参加しており、環境、材料、医薬、エネルギー、クリーンルームなど応用分野も多岐にわたります。

毎年夏に、学会の年会としてエアロゾル科学・技術研究討論会を開催しているほか、最近ではPM_{2.5}問題に関連して社会に向けての情報提供・啓蒙活動等を積極的に行っており、一般向けのシンポジウム開催や解説書の出版等の活動も活発に展開しています。

さらに、本学会は国内のみならず、アジア、アメリカ、ヨーロッパのエアロゾル学会と友好関係にあり、国際的にも重要な役割を果たしています。

エアロゾルに関心のある研究者、技術者、学生ならびに法人の積極的な入会と当学会の活用をおすすめします。希望者はどなたでも本学会に入れます。



▼お問い合わせ先

〒162-0801
東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミーセンター
日本エアロゾル学会事務局

TEL : 03-6824-9378
FAX : 03-5227-8631
E-mail : jaast-post@bunken.co.jp
<http://www.jaast.jp/home-j.shtml> (QR code)



▼学会の主な活動

会誌の発行

会誌「エアロゾル研究 (Erozoru Kenkyu)」を年4回(3月, 6月, 9月, 12月)発行しています。

- (a) 原著論文(研究論文, 技術論文, レビューペーパー, 研究速報, ノートなど), 各分野の旬のトピックスを系統的に掲載した特集
- (b) 解説, アラカルト, ニューフェイス, 行事報告(特に海外の AAAR, EAC, AAC, IAC など)

エアロゾル科学・技術研究討論会

毎年8月から9月上旬の間に3日間程度開催されます。この討論会では、あらゆる分野のエアロゾル研究者・技術者が一堂に会し、活発な研究交流と情報交換がなされています。

また、特別講演や展望講演では、自分の専門とする分野以外の解説が聴けます。

なお、この研究討論会では、その趣旨から、他学会で発表した講演も受け入れています。

また、エアロゾルに関係する様々な分野の方々の集まりですので、毎回多数の参加者が懇親会にも出席されて交流を深めています。

シンポジウム・講演会・セミナー・基礎講座

内外のトピックスの紹介及びエアロゾルに関する特定の重点課題についてシンポジウム、講演会、セミナーを適宜企画しています。

また、研究討論会に合わせて基礎講座も開催しています。

エアロゾル関連機器展示会

研究討論会の会期中に、同じ会場内でエアロゾルに関連した機器及びカタログの展示会を併設しています。最新製品について参会者が効率よく情報収集できます。

▼学会内外の交流・連携

国際的な連携

本学会は、国際エアロゾル研究連合(IARA)およびアジアエアロゾル研究連合(AARA)に加盟しており、欧米やアジアなど諸外国の学会との情報交換も活発に行っております。

学会賞

会長賞: 学会の発展あるいはエアロゾル分野の学問または技術の進歩に顕著な貢献をした個人または団体に授与されます。

論文賞: 学会誌「エアロゾル研究」に発表された優秀なオリジナル論文の著者に授与されます。

奨励賞: 今後の本学会への貢献あるいはエアロゾル研究分野における活躍が大いに期待される学生会員、および受賞年の4月1日に満40歳以下の正会員に授与されます。

エアロゾル計測賞: 新規性・独創性の高い計測技術の研究・開発を行っており、これまでに顕著な実績を挙げているもの、または、今後の発展が期待できる研究者・技術者に授与されます。

高橋幹二賞: 学会誌「エアロゾル研究」に発表された英語論文の中で、研究論文・技術論文において特に優れ、学会のグローバル化への貢献が期待される論文の著者に授与されます。

ベストポスター賞: エアロゾル科学・技術研究討論会において、受賞年の4月1日に満35歳以下の個人会員・学生会員を対象とした若手ポスター発表の中から、優れた発表に授与されます。

井伊谷賞: エアロゾル科学・技術研究討論会の「特別セッション」における優れた発表者にも与えられます。

研究会

会員間の研究交流を緊密に図るために、小グループで気軽に学ぶ場として研究会制度があり、各研究会には活動資金の補助があります。

▼入会案内

申込方法

随時、入会可能です。申込はホームページ、または学会事務局で受け付けています。

年度の途中に入会されても、その年度の学会誌は年度内(4月～翌年3月)の第1号から送付されます。

会員の種類と特典

年会費

- | | |
|--------------|------------|
| ・個人会員 | 9,000円 |
| ・学生会員 | 3,000円 |
| ・法人会員(会社・団体) | 1口 60,000円 |

1. 個人会員および学生会員

- (a) 学会誌(年4冊発行)、諸案内が配布されます。
- (b) 学会誌への投稿資格があります。また、J-STAGE(学会誌電子版)に掲載される論文・主要記事閲覧・ダウンロードできます。
- (c) エアロゾル科学・技術研究討論会(学会の年会)での発表資格があります。
- (d) 各種行事に非会員より割安な参加費で参加できます。

2. 法人会員

- (a) 学会誌(年4冊発行)、諸案内が各2部配布され、学会誌への投稿資格があります。
- (b) 会誌の広告掲載料が非会員の半額になり、学会ホームページにバナー広告が無料で掲載されます。
- (c) 各種行事(エアロゾル科学・技術研究討論会を含む)に3名まで個人会員と同額で参加できます。
- (d) エアロゾル科学・技術研究討論会で研究発表の資格があり、製品紹介セッションで製品の紹介ができます。

若手会

学会に所属する20～30歳の会員(法人会員に所属する方、学生会員も含む)を主な対象として、研究分野や大学・研究所・民間企業などの所属を横断し、若手研究者・技術者の討論・交流の場を設けること、それによって若手の間でのネットワーク作りの場を提供することを目的とした会です。おもな活動は、若手討論会(毎年の研究討論会の際)と若手フォーラムを若手ならではのテーマで開催しています。